

20	地球と宇宙 四季の変化	氏名	得点 点
----	----------------	----	---------

1 次の問いに答えなさい。

- 1年のうちで、日の出・日の入りの位置が真東と真西になるのは、春分の日か、夏至の日か。
- 1年のうちで、日の出・日の入りの位置がもっとも南よりになるのは、夏至の日か、冬至の日か。
- 日本で、1年のうちで太陽の南中高度がもっとも高くなるのは、夏至の日か、冬至の日か。
- 日本で、1年のうちで昼の長さがもっとも短くなるのは、夏至の日か、冬至の日か。
- 春分の日と秋分の日、昼と夜の長さがほぼどのようになるか。
- 地面が1日に太陽から受けるエネルギーの量が多いのは、太陽の南中高度が高い日か、低い日か。

1

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	

2 次の問いに答えなさい。

- 次の文の()にあてはまることばや数は何か。
太陽の南中高度や昼の長さが季節によって変化するのは、地球の(①)が公転面に垂直な方向から(②)°傾いたまま、地球が公転しているためである。
- 次の①～③のようになるのは、夏至の日、春分・秋分の日、冬至の日のどの日か。
① 日の出・日の入りの位置が、真東・真西からもっとも北よりである。
② 太陽の南中高度がもっとも低い。
③ 昼・夜の長さがほぼ同じである。
- 図1は、夏至、冬至、春分・秋分の日の太陽の動きを表している。
① 昼の長さがもっとも短いのは、A～Cのどのときか。記号で答えなさい。
② Aはどの日の太陽の動き方か。

図1

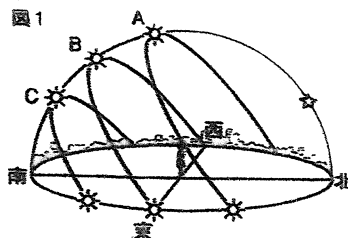
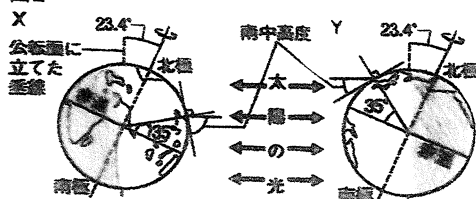


図2

- 図2は、地球への太陽の光のあたり方を示したものである。冬至の日の太陽の光のあたり方はX、Yのどちらか。記号で答えなさい。



2

(1)	①
(2)	②
(3)	①
(4)	②